

問1 鎌倉幕府において、各地方に配置され、土地の管理や徴税を任された役職を何という？

1. 地頭 2. 郡司 3. 守護 4. 国司

問2 13世紀後半、フビライ・ハーンが日本へ向けて2度にわたり大規模な遠征軍を九州北部へ送った一連の戦いを何という？

1. 弘安の役 2. 応仁の乱 3. 文永の役 4. 元寇の役

問3 鎌倉幕府の御家人が、軍役として警備を担当した場所をどこ？

1. 鎌倉 2. 京都 3. 大宰府 4. 平泉

問4 モンゴル帝国（元）の遠征を受けた際、当時の日本を統治していた幕府を何という？

1. 平安京 2. 平氏政権 3. 室町幕府 4. 鎌倉幕府

問5 鎌倉幕府が、元寇後の困窮した御家人たちを救済するために出した法令を何という？

1. 徳政令 2. 喧嘩両成敗法 3. 分国法 4. 貫高制

問6 一遍が諸国を巡りながら、念仏を唱えて踊ることで教えを広めた活動を何という？

1. 唱題 2. 座禅 3. 踊念仏 4. 念仏

問7 鎌倉時代の将軍と御家人の間の「御恩」と「奉公」によって成り立つ結びつきを何という？

1. 封建制度 2. 主従関係 3. 公地公民 4. 中央集権

問8 13世紀にモンゴル帝国を築き、後に日本へ侵攻を企てた人物は誰？

1. チンギス・ハーン 2. モンケ 3. オゴデイ 4. フビライ

問9 運慶が快慶らと協力して制作した、奈良の東大寺南大門に安置されている有名な彫刻作品を何という？

1. 金剛力士像 2. 阿弥陀如来像 3. 釈迦如来像 4. 観音菩薩像

問10 鎌倉時代の武士が好んだ、飾らずに自分を律する生活態度のことを何という？

1. 簡素 2. 勇猛 3. 質素 4. 厳格

問11 『徒然草』のように、筆者が日々の出来事や感じたことを自由に書き留める文学形式を何という？

1. 歌集 2. 随筆 3. 説話集 4. 軍記物

問12 鎌倉幕府が、朝廷の動きを監視するために京都に設置した機関を何という？

1. 京都守護 2. 鎮西探題 3. 六波羅探題 4. 奥州探題

問13 1221年に幕府打倒を計画し、承久の乱を起こした上皇は誰？

1. 後鳥羽上皇 2. 崇徳上皇 3. 白河上皇 4. 後白河上皇

問14 浄土真宗で重要視された、自分の修行力ではなく、阿弥陀仏の力によって救われるという考え方を何という？

1. 自力本願 2. 悪人正機 3. 他力本願 4. 即身成仏

問15 マルコ・ポーロが記した『東方見聞録』の別名を何という？

1. 東方見聞録 2. 世界の記述 3. 三国遺事 4. 元史

問16 鴨長明が活躍し、古典文学が発展した時期を何という？

1. 室町時代 2. 奈良時代 3. 平安時代 4. 鎌倉時代

答え合わせ・解説

問1	答え 1 地頭	地頭は、御家人の中から任命され、土地の管理や年貢の徴収を行いました。単なる管理役にとどまらず、次第にその土地での権力を強めていき、武士の地方支配の拠点となりました。特に承久の乱の後には、幕府が地頭を全国の荘園や公領に配置したことで、幕府の統治範囲が飛躍的に拡大しました。
問2	答え 3 文永の役	1274年の文永の役と、1281年の弘安の役の2度、元軍が九州北部に襲来しました。元軍は火器などを用いた集団戦法で攻めてきましたが、御家人たちの奮戦や、暴風雨の影響もあり、幕府はこれを退けることに成功しました。
問3	答え 2 京都	御家人の重要な軍役の一つに、京都の警備を担う「京都大番役」があります。これは、将軍の命令により一定期間、京都へ赴き治安維持を行うものでした。他にも鎌倉周辺の警備も担当しており、これらは御家人が将軍に対して奉公を果たす具体的な役割でした。
問4	答え 4 鎌倉幕府	鎌倉幕府は「御恩と奉公」という主従関係を基盤に、地頭や守護を配置して日本全国の武士を統制しました。13世紀後半に元からの脅威にさらされた際、執権の北条時宗のもとで二度にわたる侵攻（元寇）を撃退しました。
問5	答え 1 徳政令	幕府は、御家人が借金を返済しなくてもよいことや、質入れした土地をただで取り戻せるようにする徳政令を1297年に出しました。これにより、御家人の経済的な立て直しを図りました。
問6	答え 3 踊念仏	一遍が始めた「踊念仏」は、太鼓を打ち鳴らし、念仏を唱えながら踊ることで、深い宗教体験を得ようとするものです。この活動は非常にエネルギーで視覚的にも人々の注目を集め、武士から農民、商工業者まで幅広い階層の人々を熱狂的に惹きつけました。
問7	答え 2 主従関係	主従関係とは、将軍が土地を保障する「御恩」と、御家人が軍役を果たす「奉公」が対になったものです。この契約的な関係により、将軍は御家人を束ね、軍事力を維持しました。土地を媒介として「御恩と奉公」を繰り返すことで、幕府は全国の武士を支配下に置くことができました。
問8	答え 4 フビライ	第5代皇帝フビライ・ハーンは国号を「元」と改め、大都（現在の北京）を拠点に東アジアの覇権を握ろうとしました。彼は日本に対しても外交使節を派遣して服属を求めましたが、幕府がこれを拒否したため、1274年の文永の役と1281年の弘安の役という2度の遠征軍を日本に送りました。
問9	答え 1 金剛力士像	東大寺南大門に配置された金剛力士像は、運慶と快慶らの工房が分担して短期間で完成させました。筋肉の盛り上がりや血管の浮き出た表現、衣のひだの動きなど、極めて写実的で生命感あふれる特徴を持っています。
問10	答え 4 厳格	鎌倉時代の武士は、富や権力を誇示するよりも、質素で厳格な生活を送り、主君に対する絶対的な忠誠を誓うことを美德としました。この精神性は、仏教の禅宗の普及とも結びつき、武士社会における倫理規範として定着しました。
問11	答え 2 随筆	随筆（エッセイ）は、決まった形式に縛られず、個人の内面や世の中に対する洞察を記すものです。鎌倉時代には吉田兼好の『徒然草』が、平安時代の清少納言の『枕草子』と並ぶ代表的な随筆として知られます。
問12	答え 3 六波羅探題	六波羅探題は、京都の六波羅に設置された鎌倉幕府の重要機関です。朝廷の監視だけでなく、京都周辺の治安維持や、西国の御家人の統制、さらには京都で起こった裁判の処理などを幅広く担当しました。北条氏の一家がこの長官に就任することが多く、幕府の西国支配における最前線の拠点としての役割を果たしました。
問13	答え 1 後鳥羽上皇	後鳥羽上皇は、自らを支持する武士たちを集めて幕府軍への反撃を試みました。しかし、北条政子の檄に応じた御家人たちの結束によって幕府軍が勝利しました。戦後、後鳥羽上皇は隠岐（現在の島根県）に流され、朝廷の権威は以前よりも大きく低下することとなりました。
問14	答え 3 他力本願	他力本願は、自分の力で行う修行（自力）に頼るのではなく、すべてを阿弥陀仏の力（他力）に任せて救いを求める考え方です。親鸞はこの姿勢こそが真の信仰であると説き、出家せずにただ念仏を唱えるだけで救われる道を提示しました。
問15	答え 2 世界の記述	『世界の記述』（あるいは『驚異の書』とも呼ばれる）は、モンゴル帝国（元）のフビライ＝ハーンのもとの体験、中国の高度な文明、さらには日本などの周辺国の様子が描かれています。これにより、ヨーロッパの人々に東洋の地理的な広がりを伝え、当時の人々の世界観を根本から書き換えました。
問16	答え 4 鎌倉時代	この時代には、戦乱の不安や厳しい生活環境を背景に、無常観を湛えた文学が発展しました。鴨長明の『方丈記』のように、世の移り変わりや自然の厳しさを冷静に見つめる作品が数多く書かれました。